

6312 ^{kuraku}久楽世界の旅と心模様：北欧ひとり旅 162・絶景

.....

北欧に関して、発信の仕方を、時系列でなく、少し変更。
全てスカンジナビア、4カ国の画像ですが、思いつくままに、**順不同で、発信の予定**。
気まぐれな発信になるかと思いますが、ご容赦。



山はみどり 野に花 人にはこころ

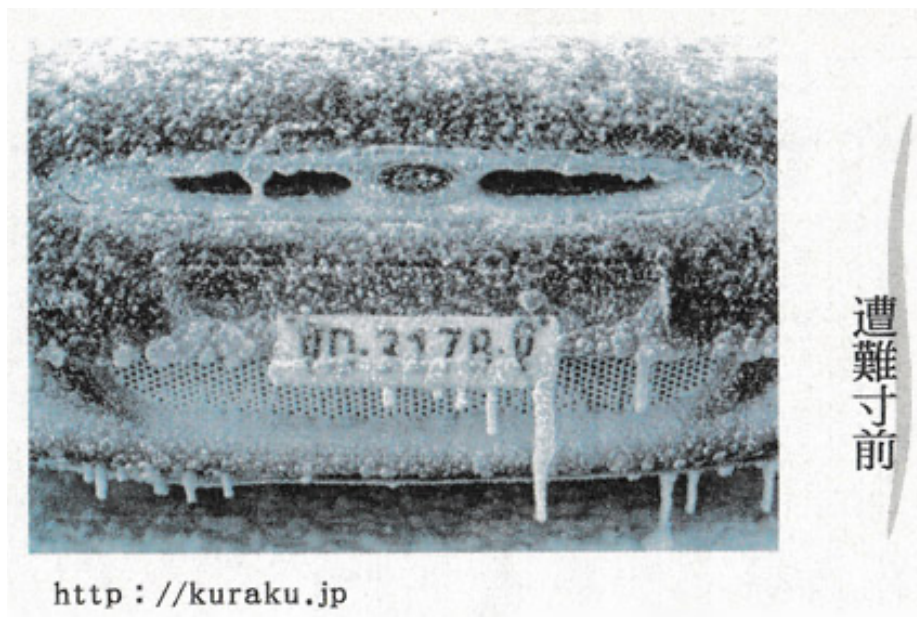
少しお時間をいただいと、思いましたが、多事多難の 2022 年を、無事に**クリヤー**。

後半の頑張りで、課題が全て解決。次へ前進。

YAHOO! ニュース、IT media ビジネス、ONLINE の記事、
「**豊田章男**社長を取材し続けた**筆者が思う**、退任の本当の理由」の**記事を見て**、
思い出の一つとして、コピーして、**思い出記録ファイル**へ。

言葉や行動、一言で傷ついたり、元気をもらったり、出会い一つで人生に影響をうける。

古い話ですが、1998 年 6 月 12 日金曜日、欧州大陸 88 日間ひとり旅の途上、
日本を出て、66 日目の出来事、メモと画像記録を取り出した。

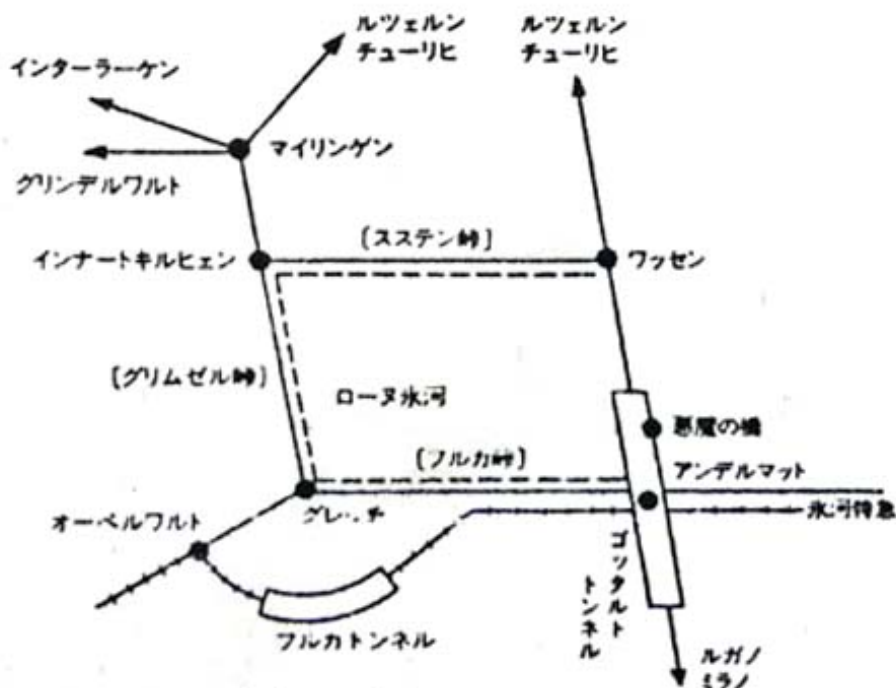


地球のかおり

6月中旬のスイスアルプス・グリムゼル峠。この時期でもかなりの降雪があることは承知していたが、またまた好天が続いていたため油断した。道草を食っている間に天候が悪化、黒い雲が峰々を覆い、激しく雪が降り出した。視界数センチ。車での走行は無理だ。山の頂上の宿に駆け込んだ。そして翌朝。氷の塊が張り付いた車を目にして呆然とした。「厳しい冬そのものの作品」のように見えた。

(夢絵作家 久樂迎古)

遭難寸前



冬は閉鎖のスイスの屋根 三つの峠越えルート

～～メモと記録には、箇条書きに～～

外部は一面の銀世界。昨夜の雪、除雪できるかどうか。
日程に余裕があり、季節も夏になって行くことがわかっているため、
気分的に安心であるものの、驚かされた。

日本の株式暴落 14.800 円。為替 146 円。大変なことになっていると聞く。
覚悟と予想はしていたものの、予測以上の数値になり、
影響があるだけに困ったことだが、何ともならず、我慢するしかない。
平常心で、事に対処することの大切さを再確認。

グリムゼル峠、強風と凍結と積雪、雪のため、前進できず、しかし、
ラッキーにも、峠の頂上、アルペンホテルに宿泊できた。明日は、全く推測もつかない。

昨夜から今朝、**素晴らしい体験**をさせていただいた。
孤独でなく、人がいる。暖がある。食がある。この**安心感**のような気持ちは、何なのか。
待つ、我慢、脚下照顧、必要な時に、必要なものが入手出来た。
しかし、午前中は、**通行不能**。午後、スステン峠を訪ねるも**通行止め**の状態。

88 日間の地球紀行。残る日数も 20 日。予算も旅程も再チェック。
6/14~7/4、7/1~2 は、Zurich（チューリッヒ）宿泊予約済み。7/3、日本へ帰国の予定。
いい思い出、心の財産になる地球紀行にするため、頑張るしか選択肢がない。
厳しかったが、落ち着いて、静かな時間を持てたことは、実にラッキー。

普通、常識、基準、当たり前とは、・・・ 世界は広い。

北欧の旅、時に、手袋や防寒具なしでは、歯が立たない。ともかく、想定外の冷たさ。
厳しい体験をさせてもらったおかげで、その後の人生が、充実。